### 項目 修正前 修正後 375 4 – 2 ガス切断丁 375 ガス切断工 375 補修工事ガス 4 − 2 補修工事ガス切断工 4 − 2 補修工事ガス切断工 切断工 補修工事ガス切断工において、切断面グラインダー仕上げの場合の歩掛は表4-2、所定寸法に切断面を円 補修工事ガス切断工において、切断面グラインダー仕上げの場合の歩掛は表4-2、所定寸法に切断面を円 滑仕上げする場合の歩掛は表4-3を標準とする。 滑仕上げする場合の歩掛は表4-3を標準とする。 表4-2 補修工事ガス切断工(切断面グラインダー仕上げ) 歩掛 表4-2 補修工事ガス切断工(切断面グラインダー仕上げ)歩掛 日本自体工品 労務編成(人) 法姓费率 (%) 日当り施工量 労務編成 (人) 送婚费率 (%) 橋りょう世話役 1.0 橋りょう世話役 1.0 $50 \times \alpha \times \beta \times \gamma \pmod{m / H}$ 33 $50 \times \alpha \times \beta \times \gamma \pmod{\mathbb{H}}$ 33 橋りょう特殊工 橋りょう特殊工 2.7 (注) 1. 諸雑費は、発動発電機の質料、燃料・油脂類・架設工具及び消耗材料の費用であり、 (注) 1. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油脂類・架設工具及び消耗材料の費用であり。 労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. a:板原による係数(付表-1) 2. a:板屋による係数(付表-1) y: 切断長による係数(付表-2) β:施工箇所部位による係数(付表-3) 表4-3 補修工事ガス切断工(切削仕上げ)歩掛 表4-3 補修工事ガス切断工(切削仕上げ)歩掛 労務編成 (人) 日当り施工量 労務編成 (人) 橋りょう世話役 1.0 橋りょう世話役 1.0 33 $25 \times \alpha \times B \ (m/H)$ $25 \times \alpha \times B \ (m/H)$ 33 橋りょう特殊工 橋りょう特殊工 2.7 橋梁架設工事の積算 表4-5-2 補修工事ガス切断切削仕上工歩掛 参照 橋梁架設工事の積算 表4-5-2 補修工事ガス切断切削仕上工歩掛 参照 (注) 1. 日当り施工量を算出する設計対象数量は、平均板厚とする。 (注) 1. 日当り施工量を算出する設計対象数量は、平均板厚とする。 補修工事ガス切断切削仕上げは、既設部材の改造、撤去に伴う切断仕上げでガス切断 2. 補修工事ガス切断切削仕上げは、既設部材の改造、撤去に伴う切断仕上げでガス切断 後、所定寸法まで切断面を円滑仕上げする。 後、所定寸法まで切断面を円滑仕上げする。 なお、新規部材を取り付けるため、本体の部材面まで平滑仕上げする必要がある場合 には、③-1 表4-1ガス切断切削仕上工歩掛を適用する。 なお、新規部材を取り付けるため、本体の部材面まで平滑仕上げする必要がある場合 には、③-1 表4-1ガス切断切削仕上工歩掛を適用する。 3. 諸維費は、発動発電機の賃料、燃料・油脂類、架設工具及び消耗材料の費用であり、 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油脂類、架設工具及び消耗材料の費用であり、 労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 部材撤去工及び部材取下ろし工は別途計上する。 4. 部材搬去工及び部材取下ろし工は別途計上する。 5. a: 板厚による係数 (付表-1) β: 切断長による係数 (付表 - 2) γ: 施工箇所部位による係数 (付表-3) β:施工箇所部位による係数(付表-3) 付表-1 切断部材板厚による補正係数 (α) 付表-2 ガス切断長による補正係数 (β) 付表-1 切断部材板厚による補正係数 (α) 付表-2 ガス切断長による補正係数(γ) ガス切断長 L (m) 板屋 t (mm) 板厚 t (mm) ガス切断長 L. (m) $\alpha$ 6≤ t ≤10 1.00 L ≤1.0 0.90 6≤ t ≤10 1.00 L ≤1.0 0.90 10< t ≦15 0.83 1.0< L ≤2.0 0.95 10< t ≤15 0.83 1.0< L ≤2.0 0.95 15< t ≦20 0.75 2.0< L ≤3.0 1.00 15< t ≦20 0.75 2.0< L ≤3.0 1.00 20< t ≦25 0.64 30< L ≤4.0 1.05 20< t ≦25 0.64 3.0< L ≤4.0 1.05 25< t ≦30 0.55 4.0< L 1.10 25< t ≦30 0.55 4.0< L 1.10 付表-3 施工筒所部位による補正係数 (y) 施工フロー 付表-3 施工筒所部位による補正係数(8) 施工フロー 施丁部位 野 書 き 施丁部位 野 書 き 桁外面 1.0 桁外面 1.0 箱桁内面 0.7 ガス切断 箱桁内面 0.7 ガス切断 切断面什上件 切断面仕上げ 凡 例(切断面グラインダー仕上げ) 凡 例(切断面グラインダー仕上げ) 溶接ビードはそのまま 溶接ビードはそのまま ガセットプレート ガス切断跡は、グラインダーで円滑仕上げのみとする ガス切断跡は、グラインダーで円滑仕上げのみとする

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 修正情報 項目 修正前 修正後 402 10-7 402 第7章 歩掛編 402 第7章 宏掛編 足場材荷揚げ ● 7 足場材荷揚げ(荷卸し)工 ● 7 足場材荷揚げ(荷卸し)工 (荷卸し) エ 足場材荷揚げ(荷卸し)工の歩掛は、次表を標準とする。 足場材荷揚げ(荷卸し)工の歩掛は、次表を標準とする。 表10-7 足場材荷揚げ(荷卸し)工歩掛 表10-7 足場材荷揚げ(荷卸し)工歩掛 所要日数 労務編成 (人) 諸雑費率 (%) 所要日数 労務編成 (人) 諸雜費率(%) 橋りょう世話役 橋りょう世話役 G/ (30× a) 橋りょう特殊工 橋りょう特殊工 4.0 普通作業目 普通作業員 (注) 1. G = 数量 × β は⑩ - 5 付表 - 2を参照 10 数量は足場材の部材(単管バイブ, 足場板, 吊チェーン, クランプ) の数量とする。 2. 作業は部材の荷揚げ、荷卸しとする。 2. 作業は部材の荷揚げ、荷卸しとする。 3. 諸雑費は荷揚げ、荷卸しの機械器具費用及び消耗材料であり労務費の合計額に諸雑費 3. 諸雑費は荷揚げ、荷卸しの機械器具費用及び消耗材料であり労務費の合計額に諸雑費 率を乗じた金額を上限として計上する。 率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 取卸及び積込用のクレーンが必要な場合は別途計上する。 4. 取卸及び積込用のクレーンが必要な場合は別途計上する。 付表-1 吊上げ高さよる補正係数 (α) 付表-1 吊上げ高さよる補正係数 (α) 吊上げ高さh (m) 吊上げ高さh (m) h ≤10 1.25 h ≤10 1.25 10< h ≤20 1.00 10< h ≤20 1.00 20< h < 30 0.83 20< h < 30 0.83 30< h ≤40 0.71 30< h ≤40 0.71 40< h ≤50 0.63 0.63 ■ - 8 紫外線硬化型 FRP シート設置工 ■ - 8 紫外線硬化型 FRP シート設置工 施工単価は、土木コスト情報 土木工事標準単価「紫外線硬化型 FRP シート設置工」を参照して下さい。 標準単価の規格・仕様 標準単価の規格・仕様

### 表10-8 紫外線硬化型 FRP シート設置 (紫外線照射なし)

工 種	規格・仕様	高所作業車		単位	日当たり標準施工量
紫外線硬化型 FRPシート設置 (紫外線照射なし)	区分A (0.01㎡以上0.07㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	1.5
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	1.2
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	1.2
	区分B (0.07㎡以上0.15㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	2.5
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	2.0
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	2.0
	区分C (0.15㎡以上/枚)	無		m <sup>2</sup>	5.0
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	4.0
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	4.0

<sup>(</sup>注) 1. 区分A·B·Cは、1枚当りの FRP シート貼付面積とする。

# 表10-9 紫外線硬化型 FRP シート設置 (紫外線照射あり)

工 種	規格・仕様	高所作業車		単位	日当たり標準施工量
紫外線硬化型 FRPシート設置 (紫外線照射あり)	区分A (0.01㎡以上0.07㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	0.9
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	0.7
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	0.7
	区分B (0.07㎡以上0.15㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	1.6
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	1.2
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	1.2
	区分C (0.15㎡以上/枚)	無		m <sup>2</sup>	3.1
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	2.4
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	2.4

<sup>(</sup>注) 1. 区分A·B·Cは、1枚当りの FRP シート貼付面積とする。

施工単価は、土木コスト情報 土木工事標準単価「紫外線硬化型 FRP シート設置工」を参照して下さい。

表10-8 紫外線硬化型 FRP シート設置 (紫外線照射なし)

工 種	規格・仕様	高所作業車		単位	日当たり標準施工量
紫外線硬化型 FRPシート設置 (紫外線照射なし)	区分A (0.01㎡以上0.07㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	1.5
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	1.2
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	1.2
	区分B (0.07㎡以上0.15㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	2.5
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	2.0
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	2.0
	区分C (0.15㎡以上/枚)	無		m <sup>2</sup>	5.0
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	4.0
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	4.0

<sup>(</sup>注) 1. 区分A・B・Cは、1枚当りのFRPシート貼付面積とする。

## 表10-9 紫外線硬化型 FRP シート設置 (紫外線照射あり)

工 種	規格・仕様	高所作業車		単位	日当たり標準施工量
紫外線硬化型 FRPシート設置 (紫外線照射あり)	区分A (0.01㎡以上0.07㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	0.9
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	0.7
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	0.7
	区分B (0.07㎡以上0.15㎡未満/枚)	無		m <sup>2</sup>	1.6
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	1.2
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	1.2
	区分C (0.15㎡以上/枚)	無		m <sup>2</sup>	3.1
		有	作業高11m未満	m <sup>2</sup>	2.4
			作業高11m以上13m以下	m <sup>2</sup>	2.4

<sup>(</sup>注) 1. 区分A·B·Cは、1枚当りの FRP シート貼付面積とする。

<sup>2.</sup> 清掃・水洗、素地調整、塗装作業の規格・仕様は、橋梁塗装工 (土木工事標準単価) を適用する (ただし、水管橋は除く)。

<sup>2.</sup> 清揚・水洗、素地調整、塗装作業の規格・仕様は、橋梁塗装工 (土木工事標準単価) を適用する (ただし、水管橋は除く)。

<sup>2.</sup> 清掃・水洗、素地調整、塗装作業の規格・仕様は、橋梁塗装工 (土木工事標準単価) を適用する (ただし、水管橋は除く)。

<sup>2.</sup> 清掃・水洗、素地調整、塗装作業の規格・仕様は、橋梁塗装工 (土木工事標準単価) を適用する (ただし、水管橋は除く)。